

主な業務実績

- 漁港施設等災害復旧工事発注者支援業務 (発注者) 水産庁・被災県及び県内市町村
- 水産基盤整備工事設計積算業務 (発注者) 鋸南町・真鶴町
- 機能保全計画等の策定業務 (発注者) 千葉・青森・福井・島根県下市町村
- 水産基盤施設ストックマネジメントに係る手引き・ガイドラインの改訂 (発注者) 水産庁
- 藻場造成型漁港構造物調査・設計ガイドラインの作成 (発注者) 水産庁
- 藻場資源消滅防止対策ガイドラインの作成 (発注者) 水産庁
- 湖沼の漁場改善技術ガイドラインの作成 (発注者) 水産庁
- サンゴ礁保全活動の手引きの作成 (発注者) 水産庁
- 環境・生態系保全活動ハンドブックの作成 (発注者) 全漁連
- サンゴの種苗生産 (発注者) 水産庁・沖縄県
- 沖ノ鳥島におけるサンゴ増殖技術開発調査 (発注者) 水産庁
- マウンド礁の調査、設計、施工方法検討、積算・施工管理に関する業務 (発注者) 水産庁・県
- マウンド礁の整備効果検証のための調査業務 (発注者) 長崎県・鹿児島県・宮崎県
- 魚礁漁場の効果調査 (発注者) 長崎県・青森県

主な資格保有者

- 技術士（水産部門、建設部門） 6名
- 一級土木施工管理技士 16名
- 二級建築士 1名
- 水産工学技士 22名
- RCCM（水産土木） 1名
- 測量士、測量士補 13名
- 潜水士 12名
- 環境計量士 1名
- コンクリート技士、コンクリート診断士 3名

主な観測機器とシステム

- サイドスキャンソナー
魚礁位置確認、藻場の状況確認等
- 水中テレビロボット（ROV）
魚礁効果調査等、藻場調査等
- 精密音響測深機
深浅測量（使用最大深度250m）
- 魚礁効果診断システム
GPSデータロガーによる操業実態調査等
- 魚礁情報管理システム
GIS版魚礁台帳整備等



▲各種観測機器を備えています

東京本部
〒104-0045
東京都中央区築地2-14-5 サイエスタビル3F
TEL: 03-3546-6858
地下鉄日比谷線築地駅2番出口より徒歩1分



松江支所
〒690-0873
島根県松江市内中原町20-1 城南ビル3F
TEL: 0852-28-1630
JR松江駅よりバスにて県庁前下車徒歩3分



長崎支所
〒850-0035
長崎県長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル2F
TEL: 095-827-5669
JR長崎駅より路面電車にて大波止下車徒歩2分



漁港・漁場・漁村づくり 水産環境の保全創造について 皆さまと共に考え、お手伝いいたします

I 水産土木工事等の事業主体に対する支援

- ▶ 県や市町村から漁港・漁場・海岸整備の工事に関する設計・積算・施工管理等の業務を受託
- ▶ 漁港・漁場・漁村環境整備事業の積算歩掛調査・研究

II 調査・研究及び成果の普及

- ▶ 漁港・漁場施設の設計・施工・維持管理に関する調査・研究
- ▶ 水産環境の保全・創造に資する調査・研究

III 水産土木工事等の技術者の養成

- ▶ 水産土木工事監督・検査職員研修会の実施
- ▶ 水産工学技士養成講習会の実施及び水産工学技士の認定登録・更新
- ▶ 漁港漁場関係工事積算基準講習会の実施

(一社) 水産土木建設技術センターは、都道府県や市町村を会員とし、漁港漁場整備事業の技術的バックアップを行っています。水産庁や地方公共団体等から漁港漁場整備を支える実践的技術に関する業務を受託し、その成果の普及に努めています。

I 水産土木工事等の事業主体に対する支援



▲被災状況の調査



▲工事の施工管理

水産基盤整備事業の円滑な実施を図るため、調査・設計・積算・施工管理・技術審査の支援業務を行います。東日本大震災では、発注者支援業務を一括したCM方式(*)にて受託しています。また、水産基盤整備事業にかかる積算基準の調査・研究を行います。

*CMとは、コンストラクション・マネジメントの略称です。当センターでは、包括的な発注者支援業務を行っています。

II 調査・研究及び成果の普及

漁港・漁場施設にかかる設計から維持管理まで幅広く対応します。また、藻場造成や磯焼け対策等の技術支援を行うとともに、最先端の機器を駆使して魚礁効果を効率的・定量的に診断します。

01 漁港施設等の長寿命化対策



▲簡易調査(重点項目)の実施



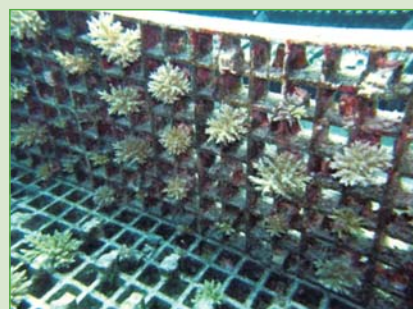
漁港施設や海岸保全施設の長寿命化対策に必要な機能保全計画(長寿命化計画)等の策定や、当該計画に基づく保全工事(対策工事)の積算等業務を支援します。

◀機能保全計画書(長寿命化計画)の策定

02 サンゴの海を守り育てる取り組み



▲サンゴの増殖の状況



有性生殖法によるサンゴ増殖技術の開発を沖ノ鳥島・沖縄海域で行っています。



03 豊かな海を育む藻場の保全と創造



▲地元の皆様とワークショップ

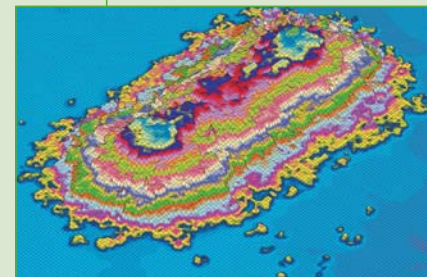


▲ダイバーによる藻場調査

▲磯焼け

磯焼け対策等の漁場環境修復技術の調査研究とともに、これらより得られた知見を活かして藻場の保全活動に取り組む漁業者に対して技術サポートを行っています。

04 沖合海域等における大規模人工漁場の造成



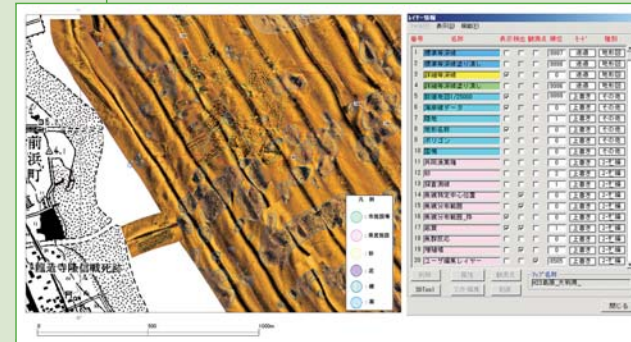
▲マウンド礁の出来形の可視化



▲マウンド礁の蛸集の状況

マウンド礁等の湧昇発生構造物による人工漁場の造成にかかわる調査、設計、積算・施工管理、効果調査まで業務を支援します。

05 魚礁効果の効率的かつ定量的把握



◀GIS版魚礁台帳のイメージ

サイドスキャンソナー、GPSデータロガー、海洋版GIS等を利用した魚礁効果診断システムにより、計画策定・事業評価の効率化、管理業務の効率化、漁業者への情報提供による魚礁利用の拡大を支援します。

III 水産土木工事等の技術者の養成

地方公共団体職員を対象として、「水産土木工事監督・検査職員研修会」、「漁港漁場関係工事積算基準講習会」等を開催しています。また、民間企業職員を対象として、「水産工学技士養成講習会」を開催しています。その他、地方公共団体等の要請に応じて研修会の講師派遣を行っています。



▲講習会の実施状況